

令和5年6月定例会 一般質問 小西高吉議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。（各議員からの「質問」（問）に該当する部分を黄色マーキングしております。）

「安心・安全に産み育てられるまちづくりについて」

○小西高吉 ただいま議長のお許しをいただきましたので、私の一般質問をさせていただきます。

今回は、今回はというよりも今回も大項目として1番、安心・安全に産み育てられるまちづくりについてということで、中項目は2点です。1つは、香芝市内の小児科、産科の状況、今回なぜするかというと、香芝市内に2つあった産婦人科さんの一つが3月末をもって閉院されたということをお聞かせいただいて、その影響等はどうかということをお聞かせいただきたいと思います。中項目2としては、香芝市の公園の状況、香芝市にはこれといった目玉の公園がないということで、その点もお聞かせいただきたいと思いますように思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、1つ目として、市内の小児科医療機関の現状をお聞かせいただきたいと思います。

私、市会議員にならせていただいて、平成16年から10年以上一般質問をさせていただいてきて、この、このというか、6年前、2017年4月から香芝生喜病院さんが小児科を備えた総合病院を開院いただいたということでございます。いろいろ調べさせていただいて、平成13年、20年以上前ですが、香芝市内の小児科、クリニックさんも合わせてですが、何か所あるのかなということで調べさせていただいたんですが、その当方で14か所の小児科医療機関があったということですが現状としてどういう状況になっているのか、必然的にその当方で今香芝生喜病院さんが1つ増えたんで15ということになりますが、その点お聞かせいただいて、壇上からの質問とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○健康部長 現在の市内の小児科につきましては、13年以降閉院されている医院さんもございますので、同じ14か所となっております。

○小西高吉 現在も14か所ということで、本来からいうと15か所になってるのかなと思いますが、1か所閉院されたという状況だということで理解しておくんですが、ちなみに小児の夜間や休日の受診者の動向は把握されているのか、その点お聞かせいただけますか。

○健康部長 小児の夜間診療につきましては、橿原市休日夜間応急診療所におけます受診状況についてお答えさせていただきます。

平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間の受診者数の平均では年間 110 人となっております。また、葛城地区休日診療所におけます受診状況につきましても、同様に見てみますと、受診者数の平均では年間 610 人となっております。

○小西高吉 その 600 件以上が多いのか少ないのかっていうのはなかなか把握しにくいとは思いますが、ちなみに小児の救急診療についてどのような体制で小児救急搬送のこの状況を把握できるのかどうか、その点を今お聞かせいただけます。

以前聞かせていただいたときは香芝、広陵消防署ということで意外と分かりやすく教えていただいた件なんですけど、広域化されたというのもあるんで、なかなか個人情報分かるような報告もしにくいということもあろうかと思うんですが、今現状どうですか。

○健康部長 小児の救急につきましては、小児二次輪番体制を奈良県が整備しておりまして、香芝生喜病院も二次輪番体制の救急病院として位置づけられております。小児に特定いたしました救急搬送数の実績については把握できかねる状況でございます。

○小西高吉 以前、もともとは夜間とか休日に関して救急で診ていただける病院が、五條とか大宇陀とか本当に時間のかかる遠いところしかなかったんで、この香芝市、子供が多い町と訴えながらも小児科、救急の場合診ていただける病院がないということで、署名もいただき、訴えもさせていただいて、今取りあえず総合病院的に生喜病院さんが小児科をさせていただいてるという状況でございます。クリニックさんも合わせると 14 か所あるということで、いろんな形で対応もさせていただいてる、休日でもしていただいているクリニックさんもあるということも聞かしていただいております。

次に、産科、産科ですね、産科の夜間休日での受診状況は把握できているのかどうかお教えいただけますか。

○健康部長 妊娠されてる方の夜間、休日におけます急病時には、まずかかりつけ医に連絡していただき、必要がありましたらかかりつけ医で診察を受けていただくこととなります。産科の夜間、休日におけます受診者数につきましても現在把握できかねる状況でございます。

○小西高吉 把握できない状況だということですね。

次に、かかりつけ医、もちろんかかりつけ医に何かあったときはすぐ走られるっていうのはもう十分分かってますし、産科さんっていうのは 24 時間体制だということも認識もさせていただいてるんですが、その中でも産科から別の病院に救急搬送されるケースもあると聞かせていただいているんですが、その点の実数の把握っていうのは把握されてるのでしょうか。

○健康部長 香芝市内の産婦人科医院より転院搬送されました件数につきまして、香芝消防署にお聞きいたしましたところ、令和元年度から令和 4 年度のデータになりますが、年間 30 件から 40 件程度転院搬送されているとのことでございます。

○小西高吉 年間 30 件から 40 件ということですが、かかりつけ医さんが今までは香芝市内に 2 軒あったということで、今度 1 軒になると。そこからいくと、この令和 5 年 3 月末で閉院されたということで、この閉院した現在の状況、かかりつけ医という形になるかと思うんですが、今の状況っていうのはどのような状況になってるのでしょうか。

○健康部長 実際にその産婦人科医院でかかりつけがどうであるかっていう把握についてはできかねる状況でございますが、妊婦健診を受診されている方の状況でご答弁させていただきます。

令和 3 年度、4 年度の実績によりますと、約 6 割の方が市内で妊婦健診を受診しておられました。

○小西高吉 市民が 6 割ということですね、6 割の方がされてると。

ちなみに、出生数がどんどん香芝市でも、どんどんっていうか、減ってきているというようには認識してるんですが、そのこの香芝市における出生数の過去 5 年間の状況、お教えいただけますか。

○健康部長 過去 5 年間の出生数ということでございます。

まず、平成 29 年につきましては 690 人、平成 30 年は 684 人、令和元年は 662 人、令和 2 年は 667 人、令和 3 年は 628 人となっており、減少傾向になっております。

○小西高吉 私もちよっと調べさせていただいて、これは住民基本台帳ベースで推移として出しておられるんですが、この香芝市においては一番ピーク時ぐらいで 2003 年、2004 年、800 人以上の出生数ということで、先ほど 5 年間をお教えいただいて 680、この住民基本台帳ベースでいくと先ほどご答弁いただいた数字よりも 2 人ずつぐらい少ないと。これは、基本的には日本人の住民の方のみっていう感じでこれは出しておられるんで、外国の方がプラスされての先ほどの報告かなと思うんですが、それでもまだまだ香芝市でも出生数は 600 人以上の方がおられるということで、ただピーク時からいくと 200 人は減少してるというような状況でございます。そんな中でも、なかなか全国的にも少子化という問題がある中で、やっぱり出産できる、そういう場所を確保しとくっていうのが大きな課題というか、絶対条件だと思うんですが、ちなみにこれ、香芝市で 2 つがあったっていうこと自体が割とほかに比べると多いほうだったんだと調べてみて分かったんですけど、葛城市だったらゼロというようになっております。

そんなことで、次に妊婦さんのうち市内の産婦人科医院でどれぐらいの方が妊婦健診を受診されているのかお教えいただけますか。

○健康部長 令和 4 年度の実人数でいきますと、大体 600 人超の方が受診をされているという状況になっております。

○小西高吉 これ、簡単に出生数が 600 人やから全てが香芝市民だということもないだろうと

思うんですけど、600 人の方が受診されたということで大きな役割を担っていただいているということなんですが、ちなみにこの閉院、やめられた産婦人科さんにはどれぐらいの市民の方が受診されていたのかお教えいただけますか。

○健康部長 平成 30 年度から令和 3 年度の 4 年間においての実績になりますが大体年間 300 人ほどの妊婦さんが受診しておられました。

○小西高吉 そこからいうと、大体約半分ぐらいですかね。ですよ、単純に計算すると。そこからいくと、今まで本当に頑張っていたいて、無理な中、名前言っていると思うんですけど、藤田産婦人科さんにおいては院長さん休みもなく市外に出ることもできないと、家族旅行もしたことないというようなこともおっしゃってました。

ちなみに、私のところは長男、次男が林産婦人科さん、三男、四男が藤田産婦人科さんでお世話になったということで両方の医院さんでお世話になったということでございますが、この産婦人科医院の閉院に伴い今現在どこで受診されているのか、特徴的な変化、そういうのがもし分かればお教えいただけますか。

○健康部長 藤田産婦人科の閉院によります影響として、なかなか特定するっていうことは難しいことだと思いますが、数字に表れてるところから申し上げますと、妊婦健診の令和 3 年度と令和 4 年度の月平均を比較してみますと市内の林産婦人科五位堂医院さんで受診者数が 2 割程度増加しております。また、令和 5 年 3 月と令和 3 年度の月平均との比較で見えていきますと約 1.5 倍になってございます。

○小西高吉 単純にいくとそれぐらいは増えてくるだろうと、ただ市外でお願いする方も、これは断られるとほか探すしかないんでね。藤田産婦人科さんでも断られたっていうことも聞かせていただいたし、林産婦人科さんにおいてももういっばいやから断られたっていうのも聞かせていただいております。そんな中で、2 つあったのが 1 つになったというのはやっぱり大きな市にとってはマイナスになるのかなとは思いますが、ちなみに僕、ちょっとネットで検索させていただいて奈良県内の産科さんどれだけあるのかなというのを調べさせていただきました。先ほども葛城市にはないねんっていうのも分かったんですが、33 件っていうことでネットでは検索すると出てきます。ただ、この中にはまだ藤田産婦人科さんの記載が残っているということで、厳密に言うと 32 件なのかなと思うんですが、今現在調べて出てくるのは藤田産婦人科さんが入っているということです。

そんな中で、この香芝市で出産ができる環境を整えるために香芝市が補助を出して積極的に整備する必要があると思います、以前にもちょっとこの提案もさせていただいているんですが、1 人目、2 人目、うちは 4 人なんで 1 人目、2 人目って言いますが、1 人目はお母さんの実家に近いところの産婦人科さんで出産されるっていうパターンが多いですけど、2 人目以降なっ

てくと上の子供の学校とかいろんなことが、保育所、幼稚園ももちろんありますが、そういうことで住んでいるこの香芝市の住民さんやったらこの市内で出産しようというような流れ、うちはそうだったんですが、そこからいくとこの香芝市で住み続けていただく、この香芝市でもう一人子供を産みたい、もう一人産みたいというように思っていたくためにもこの香芝市内で出産できる環境、整えるべきだと思うんですが、その点はいかがですか。

○健康部長 産科を開設するに当たりましては、やはり施設面、設備面、また産科に対応できる機器、入院する病床といった費用面でもかなり大きく必要になってくると思います。また、分娩につきましては、24時間365日の労働環境が必要になることや訴訟のリスクというものが高くなることから人材確保が非常に難しいと言われております。産科の現在の利用状況から見ましても、市が誘致開設に向けました支援を進めていくことにつきましては将来的な検討課題として受け止めさせていただきたいと思っております。

○小西高吉 なかなかお医者さんが少なくなってきているのも事実だと思います。そんな中で、これは香芝市だけの問題じゃなく日本全国の問題でありますので、国としてもいろんな形で協力もいただけるようにしていただきたいというように思います。

以前これ、閉院されるっていうこの話が出る前ですよ、のときに一回一般質問をさせていただいたときに市長は「医師会や病院等と協議していきたい」と、この出産ができる環境を整えるためにね、そういうふうにご答弁いただいているんですが、その後はどのように動いていたのか、2つの産婦人科から1つになったっていうのは今現在では大きく変わったわけなんですが、その点も含めてどのように行動していただいたのかお教えいただけますか。

○市長 まず、産科を充実することについて県内ほかの自治体の首長にちょっと意見交換をさせていただきました。その中で、先ほど小西議員から提案のあったように、その自治体ごとに補助してみてもどうか、もしくは複数の自治体でちょっと補助して病院の先生を呼べないかということもご提案を医師会のほうにさせていただいたみたいな、医師会っていうか、大きな病院に言っていただいて派遣することができないかというふうなことをご相談をさせていただいたんですが、ただ先ほど部長の答弁にあったとおり24時間体制ということで、やはり先生の人員が非常に厳しいというふうな返答をいただいているというふうなことでございました。今後医師会だけではなくて県などもしっかりと協議を行い、議員のご提案のようにできるだけ安心して子供を産み育てられるような環境の充実には努めてまいりたいと考えております。

○小西高吉 ぜひほかの自治体の協力も得ながら、先ほども言うように香芝市だけの問題じゃないんで。

それで、以前も聞かせていただいたときにできたら生喜病院さんでやっていただけないのかなという提案もさせていただいたんですが、その当時は最初からそういう設備を整えとかない

ともし先生がおられても今の状況では無理だというお話もいただいております。そこからいうと、今回閉院された病院、あの中和幹線で下りてきたところになるんで、あの医院さんをお借りしてあの場所で産科の部分はしていただくとかということも一つの方法として考えられるのかな、そんな簡単にいかないのは十分分かった中で言ってるんですけど。そういうことも提案としてしておきますんで、それも含めた中でそういう設備を整えられないとかいうお話がもしあるのであれば、そういうことも踏まえてご協力を得ていただくようお願いしておきます。

次に、中項目として、香芝市の公園の状況ということで、子供たちが本当に楽しく遊べる公園があるのかなのか、私はないと思ってるんですけど、私だけが思ってるだけであって本当はあるんだというんでしたらそこはしっかりPRしていただいたらいいと思うんですが、市内には何か所の公園があり、公園の種別を取りあえずお教えいただけますか。

○都市創造部長 お答えいたします。

現時点で本市の都市公園は161か所ございます。

公園の種別でございますが、総合公園が1か所、地区公園が1か所、近隣公園が5か所、街区公園が106か所、特殊公園1か所、特殊緑地が47か所の合計161か所でございます。

○小西高吉 今ご説明あった中に総合公園というお話もありましたが、これははっきり言って機能してないですよ、これは後ほどまた聞かせていただきますが。

ちなみに、本年度実施される遊具の点検はどのようにされるのか、以前からそういうお話が出てますが、実際にどのようにされるのかお教えいただけますか。

○都市創造部長 公園遊具の点検につきましては、今までは職員による日常点検を実施しておりましたが、新たに公園製品整備士の有資格者による打診や道具を使用し、構造部材、消耗部材について入念な点検を行い、安全な遊具の提供をすることを目的として今年度点検を行うものでございます。

以上でございます。

○小西高吉 その点検の結果遊具に不具合があった場合、どういうふうな対応をされていかれるのか、やっぱり大分もう傷んでる遊具も多々見受けられるんですけど、お教えいただけますか。

○都市創造部長 遊具に不具合がある場合には使用停止措置を行います。また、今年度において遊具取替え工事予算を計上していることから、一部遊具については交換することも考えております。

以上でございます。

○小西高吉 実際不具合があっても交換されるってことはもちろんしていただかないといけないんですが、その際に以前のもので全く同じような種類を設置されるのかどうか、その点お聞かせいただけます。

○都市創造部長 遊具が設置されてから相当の期間がたっていることから、その地域の人口構成や地域の状況等を考慮した上で市において最適であると考えられる遊具を選定させていただき、自治会様へ提案することを考えております。

○小西高吉 今の答弁からいうと香芝市のほうから提案されるということなんですが、この香芝市の案で決定するという形になるのか、ぜひこれ、もちろん自治会さんにはお話しされると思うんですけど、やっぱり子供さん、保護者さんの意見を取り入れていただきたいと。もちろんそんな安くないものだとは分かってるんですけど、どうせするんでしたらやっぱり皆さんが喜んでいただける、そして安全で楽しく遊べる、そんな遊具にしていいただきたいと思うんですが、その点いかがですか。

○都市創造部長 あくまでも市のほうからの提案でございますので、最終的には自治会様と十分協議した上で遊具の選定を行い、設置していきたいというふうに考えております。

○小西高吉 ぜひ実際使われる子供さん、もちろん保護者の皆さんのご意見を一番に取り入れていただきたい。もちろん自治会としてもそういうふうな形を取っていただけるとは思うんですが、ぜひ地域の声を生かしていただきたいなというように思います。

ちなみにこの遊具の交換に対しての国の補助金、そういったものはあるんでしょうか。

○都市創造部長 公園施設の改築等で補助金の措置を受けるには公園施設長寿命化計画を策定しなければなりません。本市においては、現在地区公園及び近隣公園など比較的規模の大きな公園の長寿命化計画はございますが、街区公園などの比較的規模の小さな公園については長寿命化計画を策定しておりません。

○小西高吉 今の答弁からいうと、小さい公園はそこには入れることができないという認識なのか、そういうことも今後考えていただけるということになるのか、その点も聞かせていただきたいんですが、今回の遊具の点検において多くの不具合があった場合、本当に高額な費用が必要となると思うんですが、その点再度お聞かせいただけますか。

○都市創造部長 今回の点検結果等も含めまして、今後については街区公園についても長寿命化計画等について策定を検討してまいりたいというふうに考えておりますので、点検の結果を見た中で再度検討させていただきます。

○小西高吉 ちなみに、今分かるのかどうか分かんないですけど、その面積とか、いろんなやっぱりそういうあれがあるんですかね、その長寿命化のそこに入れ込むっていうのは、そんなんって今分かりますか。

○都市創造部長 長寿命化計画において事後保全と予防保全というのがございます。今までは事後保全という形で潰れてから直すという形になっておりますけど、長寿命化というのは予防保全型になってますんで潰れる前に物を長く使うということになりますんで、どうしても比較

的建物、トイレなど、そういったものが長寿命化の部分に入ってきますんで、公園の遊具についてはなかなか難しいのかなとは思いますが、そこについてもまた県等とも協議した中で何か手法がないかっていうのを考えて計画策定したいというふうに考えております。

○小西高吉 ぜひ検討いただきたいと、香芝だけじゃなく全国的なお話になろうかと思っておりますので、ほかの自治体とも協力し合ってぜひお願いしたいというように思います。

それで、この香芝市水道局前にあった野外活動センターが閉鎖されたんですけど、これに対しての市民の反響というか、声っていうのは届いているんでしょうか、その点お聞かせいただけますか。

○まなび推進局長 野外活動センターが閉鎖されてからの意見としましては、一定のご理解はいただいていると認識をしておりますけれども、市民の方からはやはり家族や仲間キャンプやバーベキュー、こういったのができるような場所があればよいというような意見は聞いております。

○小西高吉 私もこの間、あこいつになったら復活すんのかって聞かれたんで、ちょっと調べさせていただいたらもうならないと、桜のシーズンだけちょっと開放はさせてもらってるっていうようなお話もいただいたんですけど。もともと水道局の土地だったのが今は香芝市の土地になったっていうのも聞かせていただいておりますので、ぜひ香芝市としてもいろいろ考えていただけたら。この間見に行ったら草が伸びているような状況でしたんで、ぜひそこら辺も、管理もしっかりしていただけたらと思うんですが、以前香芝市総合公園のプール、この利活用について質問もさせていただいたんですが、この閉鎖後の現状はどのようになっているんですか、この香芝市総合公園のプール、お教えいただけますか。

○都市創造部長 現在は、総合公園の園路部分のみ遊歩道として活用いただけるよう、除草、樹木の剪定、側溝清掃等を行っております。

○小西高吉 今は遊歩道、歩いて通れるだけだということで、その点においてはそのプールの敷地内には入れないんですね、危険性はないというように、その点だけ確認しておきます。

○都市創造部長 プール部分につきましては、安全面を考慮し、水を抜いた上で施設内に出入できないようにしている状況です。その他プール東側の広場については、公園として供用されていない部分であるので、使用に当たっては行政財産目的外許可申請を行っていただき、市の許可を取っていただく必要がございます。そういう形での使用は可能ということです。

○小西高吉 せっかくあるものを市民の方がそうやって健康づくりに歩いていただくというのは、安全を確保した中でぜひお願いしておきますが、以前この閉鎖したプールを釣堀、これ、他市の事例も紹介させていただいたんですが、この提案に対して利用方法を検討するとその当時言っていたんですが、どのような検討をさせていただいたのかお教えいただけますか。

○都市創造部長 プール施設を活用した釣堀について検討しております。他の自治体で同様の事業を実施されている場所がございましたので、視察に行かせていただき、実施している事業者様に総合公園を直接現地確認していただくなどを行い、事業の実現性の可能性を探っているところでございます。

その他水中ドローン教室の研修施設として利用できないかとの問合せもございました。事業者に現地を見ていただいたということも行いました。しかしながら、都市公園法や市の公園条例上の規制、実施事業者の確保、採算性など事業化に当たっての種々の課題もあり、現在は具体化には至っていないというのが現状でございます。

○小西高吉 いろいろ検討をいただいたり向こうから問合せもあったということで、ただそれが実現、総合公園というくくりがあるために、できないというのも今のご報告で分かったわけなんです。あこほったらかしにしとくっていうことはできないと思いますんで、総合公園と先ほどの公園のご紹介をいただいた中にそれが出てくるといこともありますんで、ぜひお願いしたいんですが、以前も先ほどの釣堀とは別に提案させていただいたのが自然を生かしたアスレチック、そしてバーベキュー、遊具などを整備してほしいというようなことも申し上げてたんですが、先ほど教育委員会生涯学習のほうからも市民からバーベキュー、キャンプという、そういう場っていうお話もあったんで適してるんじゃないのかなと、この総合公園の場所がね、と思うんですけど、その点いかがですか。

いろいろ調べさせていただいたら、一番近くで王寺町では冒険の森っていう会社が指定管理という形で整備も兼ねて、これ、運営されてるんですけど、ここでしたらアスレチックもあって、キャンプ場、バーベキュー、そういったことも備えられております。この会社のやつを見ると、ここがどうこうじゃないんですよ、ここにとかという意味じゃないんですけど実際にされておられるんでご紹介しとくんですが、この会社が言われてるのは、行政様へという形で言われてるのが「現在、全国各地の自治体からPPP、PFIなど多数のお問い合わせを頂いております。」と、「特に多くのお問い合わせを頂いているのが市町村の管理する森林、公園などへ「森林活用型アドベンチャーパークが建設できるか否か」についてです。」と、こういう問合せがよくあるらしいです。ほかにも多分しておられるところだと思うんですけど、実際王寺町がやっておられるところをご紹介しておきますが、その点、そういったことできないでしょうか、いかがですか。

○都市創造部長 子供たちが自由に遊べるアスレチックや遊具の整備またバーベキュー場の整備等は望まれることかと思っております。しかしながら、プール跡地にこれらを整備するには既存プールの解体についても同時に検討が必要となってまいります。総合公園の整備当時、国庫補助金により築造されたことから、解体処分について国への承認申請が必要となり、またそ

の手続を進めるに当たりましても具体的な活用方法を国に示す必要がございます。そういった点において懸念事項もございますが、例えばプール施設を活用した水上アスレチック、また総合公園のプール施設以外における遊具の設置等については今後皆様のご意見を聞いた中で検討をしていきたいというふうに考えております。

○小西高吉 ぜひ前向きに考えていただけたらと思います。

ちなみに、これ、王寺でしたら使用料も取っておられるようですが、どれだけこれ、収益があるのか、その点はまだ分からないんですが、ちなみに今回提案されてる香芝市みどりの基本計画、これにも総合公園のことをうたっていただいております。その中でもアンケートを取られて、今後整備予定の香芝総合公園に望むものということで、一番多いのが子供が安心して遊べる場、次に散策ができる、健康に寄与する場、その次、カフェなどというのの次々ぐらいですかね、少数ですけど、プール跡地で釣りができる場、アスレチックやジップラインなどで遊べる場、そういうような形でご回答、これ、アンケート取られてるわけですからやっぱりここもある程度できることを尊重しないと、これ、何のためのアンケートか分かんないで。その点もあるんですけど、この今後の総合公園全体の整備方針、その点お聞かせいただけます。

○都市創造部長 現時点では事業の実施に向けた具体的な計画等はございませんが、議員もおっしゃっていただいたように、本6月定例会に上程中の香芝市みどりの基本計画におきまして香芝総合公園の整備推進を重点プロジェクトに位置づけ、今後の方針を記しております。スポーツ公園事業や国道165、香芝柏原改良事業の進捗も見ながら、整備内容や運用方法について今後検討を進めてまいりたいと考えております。

○小西高吉 ぜひ、できたら早くしていただかないと意味がないと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

これ、総合公園、昔からいつも予算にのってたんですが、測量費がずっと毎年同じ金額ずつと上がってきて、やっとそれが解決したっていうお話も聞かせていただいておりますので、せっかくその状況になったんでしたら早く進めないと、総合公園とうたっている限りはね。ぜひそういう形が早く現れるようお願いしたいと思います。

それと、最後市長にお伺いしたいんですけど、最後に市長の答弁いただく前に市長に先に1個だけ聞かせていただきたいんですけど、この香芝市において本当に目玉になる公園って、よそからも来たいって思えるような、そんな公園って実際あるんですか、その点お聞かせいただけます。

○市長 残念ながらよそ町から香芝市に公園目的で来るといような公園はございません。

○小西高吉 ですよ。僕、ちょっと調べさせていただいて、ちょっとだけ離れるんですけど、和歌山県の橋本市、これ、杉村やすらぎ広場っていうのを造られたんですけど、道路、ちよっ

と入ったとこの道路というか、バイパス沿いになるんですかね、走ってたら見えるんですよ、走ってる。子供は行きたいってやっぱり言いますわ。そやから、そういうのって、この遊具が目印になって子供の心、気持ちをかき立てるもんが、やっぱりそういうのを実際されてるとこ、この橋本市なんかは割と公園って多いんですよ、ちゃんとした遊具を備えておられてる。そやから、そこからいうと、これ、王寺にもあるんですけど、ふわふわドーム、王寺の畠田公園、美しヶ丘の上の公園なんですけど、これ、香芝の子供さんらもよく行っておられますわ。

ふわふわドームってどんなんかっていうと、空気を入れて山みたいになって、その上でジャンプしたり滑ったり、これは機械で朝多分8時半になると空気が入って、5時になったら空気が抜けると。それで、暗い間とか、そういう時間帯はもうぺったんこになってるんで安全性を保っておられるというのが実際あります。ただ、これ、僕ネットで調べたら、これ、本当なのかどうか分からないんですけど、大きさによって値段はもちろん異なるんですけど、1,000万円から、大きさ広くなると3,000万円と。これが本当なのかどうか分からないんですよ、いろいろ調べたんですけど、実際に多分見積り出さないとちゃんとした数字出てこないと思うんですけど。はっきり言って高いですけど、子供たちに本当に人気あります、一回またネットでも見ていただいたらと思うんですけど。白いので中に空気が入っていると、ふわふわドームって調べていただいたら出てきますわ。

そやから、そんなん、ここもそやからこれは橋本市が運営されてるんですけど、ここには遊具はもちろんですけどいろんなもの、もちろん大分広い敷地なんですけど、実際されておられるんで、ぜひこんなもしっかり見ていただいて検討いただきたいと思うんですが、そこで最後市長にご答弁いただきたいんですけど、そういう市民はもちろん、他市町村、他府県からでも行きたいと思っていただける、そんな公園がないっていうことに対して市長はどのように考えておられるのか、来られることによって香芝市内で食事していただく、そういうことも地域の活性化、財源の確保にもつながっていくということもあり得ると思うんで、交流人口と以前から言ってますが、そういうことにもつながっていくと思うんですけど、その点の市長のお考えお聞かせいただけますか。

○市長 まず、今ある公園、これにつきまして園内の整備、さらに施設を更新する際に今議員からご指摘あったようなこと、例えば有料にはなりますけど、おっしゃってるようなジップラインなどあるような冒険の森であったりとか、あとは最近、これも有料にはなるんですけども、話題の空中の村っていうのが奈良県にあります。ああいった形で子供たちが自然に遊べるような環境、そういったところっていうのはしっかりと適切に計画を進めていかなければならないというふうに考えております。

先ほど部長の答弁にもありましたけど、今回定例会に上程しております香芝市のこのみどり

の基本計画の中におきまして香芝市スポーツ公園の整備促進、さらには香芝市総合公園の整備促進を重点プロジェクトに挙げております。この2つの公園整備につきまして、社会情勢、ニーズ、さらには市民の意見などをしっかりと酌み取りながら魅力ある公園づくり、外からも行きたいなど、香芝にあの公園があるなどと言っていただけるような公園づくりを進めてまいりたいと思います。

○小西高吉 ぜひ市長を先頭でしっかりやって現実なものに実現していただきたいというように思います。他市町村、他府県からそうやって遊びに来られてこの香芝市に住もうということもないとは言えないと思うんで、そこからいくと逆に今出ていく方も多いかもしれないです。そやけど、先ほども質問された中でもありましたけど、大学になって働いたら市外へ出ていくっていう方ももちろんおられるけど、子供を育てる、子供を産む、産科のお話もさせていただきましたけど、産む場所もあり遊べる場もあり子供らが楽しめる場もあるということが確保できれば戻ってこられると思いますので、ぜひお願いして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。